

ウェアラブル型ボイスピッキングシステム AmiVoice[®] iPickingの紹介

株式会社アドバンスト・メディア クラウド事業部／部長 坂口毅雄

近年、ウェアラブルデバイスが注目され、ビジネスでの活用を目的した取組・事例が紹介されている。ウェアラブルをビジネスで活用する取組・事例に共通しているのは、「ハンズフリー」を実現し、作業効率を上げることである。本稿では、2014年7月に株式会社サトーと共同開発したウェアラブル型ボイスピッキングシステムAmiVoice[®] iPickingでの「ハンズフリー」の有効性や今後のウェアラブルへの取り組みを紹介したい。

1 開発経緯

物流倉庫でのピッキング、仕分け、入出庫検品は、「紙への手書き」、「ハンディーターミナルでの手入力」に加え、近年「音声指示・音声入力」でピッキングなどを行う「ボイスピッキングシステム」が定着しつつある。しかしながら、「ボイスピッキングシステム」は、まだまだ高価であり、課題もある。これらの問題を解決できるシステムとしてウェアラブル型ボイスピッキングシステムAmiVoice[®] iPickingが誕生したといえる。

2 AmiVoice[®] iPickingの特徴

ウェアラブル型ボイスピッキングシステムAmiVoice[®] iPickingは、次の特徴を有し、ウェアラブル装着を実現している(図1)。

- ① 使用する端末は軽量・コンパクト・安価な「iPod touch」
- ② 「iPod touch」は、専用アームバンドにより腕に装着
- ③ 「ヘッドセットマイク」、「バーコードスキャナ」は、ワイヤレスタイプ

